

杉田宗ゼミの学生チームが「2025年度グッドデザイン・ニューホープ賞」を受賞
— 2年連続の入選、若きデザイナーたちの挑戦が評価 —

学校法人鶴学園 広島工業大学（所在地：広島市佐伯区三宅 2-1-1）環境学部 建築デザイン学科・杉田宗ゼミの学生が、2025年10月31日、「2025年度グッドデザイン・ニューホープ賞」を受賞しました。

同賞は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞」の学生・若手デザイナー部門にあたり、全国の大学や専門学校から、将来のデザイン業界を担う若い人材を対象に選出される権威ある賞です。第4回となる本年度は、全国から668件の応募があり、そのうち115件が入選しました。杉田宗ゼミの学生による入選は、昨年につき2年連続の快挙となります。

なお、中四国地方の私立大学としては、本学のみを受賞となります。

■ 「2025年度グッドデザイン・ニューホープ賞」概要

- 主 催 公益財団法人日本デザイン振興会
- 応募資格 応募者は、個人またはグループとし、2025年4月1日現在で個人またはグループの全員が日本国内の各種専修専門学校・大学・大学院に在籍しているか、2024年6月1日以降に卒業・修了した者
- 応募カテゴリー
 - 物のデザイン（製品など）
 - 場のデザイン（建築、施設、環境など）
 - 情報のデザイン（コンテンツ、プログラム、メディアなど）
 - 仕組みのデザイン（サービス、システム、取り組みなど）
- 応募総数 668点
- 応募結果 優秀賞：8点
入選：107点
【内訳】物のデザイン：37点
場のデザイン：28点
情報のデザイン：16点
仕組みのデザイン：26点

■ 「2025年度グッドデザイン・ニューホープ賞」について

「グッドデザイン・ニューホープ賞」は、将来のデザイン分野の発展を担う新しい世代の活動を支援する目的で2022年に創設されました。大学・大学院・専門学校などに在学中の学生や、卒業・修了直後の若手社会人によるデザインを対象とし、社会や生活に新しい価値をもたらすことが期待されるプロジェクトやサービス、製品などを表彰します。

本賞は、美しさのみならず「これからの時代にどのような希望や可能性を提示できるか」という観点から評価される点に特徴があり、受賞者の創造性と革新性が社会的にも高く注目されています。

■入選作品

作品名： AEV Pavilion

受賞カテゴリー： 仕組みのデザイン

学生名： 小田 成菜／立花 一貴／佐々木 優菜／藤原 遼大／村重 宏輔／松崎 明日花
(いずれも広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科)

作品の概要： 本作品は周囲の環境データをセンサーで読み取り、パビリオンの形として可視化する。arduino を用いて日射、空気中の埃量、気圧のデータを取得。日射が強いとパネルが開き、弱いと閉じる。空気中の埃や気圧の変化によって全体の形も変化する。動力は、レーザーカッターで作ったギアを組み合わせ、その力を全体に伝えて形を変える。

審査委員による評価： 建築を「環境そのもの」ではなく、「環境の変化と呼応させる可動物」として捉え、動く行為含めて環境問題への意識を想起させるという意欲作。本作品はインスタレーションとして建築表現や環境との関係性を探るものとして制作されているとのことだが、気候の微細な変化を視覚的に認知できることで、異常気象などの対処として助けになることもあるかもしれないと感じ、広い展開性を想起させた。今後のさらなる探求・社会実装を期待したい。



■取材について

受賞学生およびゼミ指導教員へのインタビューが可能です。

取材日については事前に固定しておりません。取材をご希望の方は 2025 年 11 月 28 日 (金) 17:00 までに以下のお問い合わせ先までご連絡ください。日程は個別に調整させていただきます。

内容に関する各種お問合せ	TEL：082-921-4261 (直通) E-mail：s.sugita.zg@it-hiroshima.ac.jp 担当：環境学部 建築デザイン学科 教授 杉田 宗
取材に関する各種お問合せ (取材の申し込み先)	TEL：082-921-3128 (直通) FAX：082-921-8946 担当：広報部 石田 知世 E-mail：kouhou@tsuru-gakuen.ac.jp